

第2学年西組 国語科学習指導案

「聞きたいことを落とさず聞こう ～『外国の小学校について聞こう』～」

学習指導者 東 泰右

1 学級（34名）の実態

（1）働きかけを行う自己調整力に関する実態

〔今後の学習や生活に生かそうとする力〕

「国語の時間に、学んだことを他の学習や生活に生かそうとしている」と回答した子供は26名いるが、実際に国語の時間に学習したことで他の学習や普通の生活に役立っていると思うこととしては、「音読の工夫（6名）」「声のものさし（2名）」など13名しか具体的なものを思い浮かべられておらず、国語の学習を通して身に付いた力の自覚が足りないことが原因の一つとして考えられる。

（2）教科に関する学級の実態

学級の21名が「話の大事な部分を聞き逃さないために気を付けていることがある」と回答しているが、その内訳は、「静かに聞く（9名）」「相手の方を向いたり、姿勢を正したりして聞く（6名）」など、聞くときの態度に関するものがほとんどである。また、17名が「知りたいことや教えて欲しいことを誰かに聞いてみたい」と回答しており、知りたい内容としては、「野菜の育て方（6名）」「動物の秘密（2名）」などである。

本単元で習得させたい「今後の学習や生活に生かそうとする方法」

新しく分かったことや前よりもできるようになったことを振り返り、それが生かせそうな場面を考える

2 本単元で目指す『多様な他者と共に、自ら学びを進める子供』の姿

外国語活動の時間にALTからカナダの小学校の紹介を聞き、自分たちの学校との違いについて感想を交流した子供たちは、「聞いたことが同じでも、人それぞれ感想が違って面白いな」「他の国の小学校でもやってみよう」などの思いをもつだろう。その経験を想起したことで、「自分が選んだ国の小学校の紹介を聞いて感想を伝え合う」という単元のゴールを設定した子供たちは、試しにイタリアの小学校の紹介を聞くことで、情報が断片的にしか聞き取れていないなどの問題点を見いだす。そして、それを解決するために、「聞き方の工夫を見付けよう」などの課題を設定していく。その後、イタリアの小学校について紹介されていた内容を確認する活動を通して、「相手が何について話しているかに注意して聞く」「聞きたいこと（観点）を決めておく」という聞き方の工夫を見付けた子供たちは、他の国の小学校の紹介を聞く際にも、その工夫を活用しようとするだろう。例えば、カンボジアの小学校の紹介を聞いた後は、「『持ち物』のことは、『教科書は、前に他の人が使っていた物』を使うと言っていたよね」「『大切に使う』とも言っていたよ。物を大切に使っているなんてすごいな」「そうだね。でも僕は、日本みたいに、教科書を自分だけの物にできる方がいいな」と、聞き取った内容を確認し、感想を伝え合っていく。また、お互いの聞き取った内容が違っていった場合には、「もう一度、『持ち物』に関係する言葉に気を付けながら聞いてみよう」などと、さらに観点を意識しながら聞こうとするだろう。このような学習を通して、「『持ち物』について聞こうと決めていたから、『教科書』という言葉に反応して、大事なことを聞き取れたよ」「聞きたいことに関係のある言葉に注意して聞くことが大切だね」と、聞き方の工夫を使うと、聞きたいことを落とさず聞くことができるというよさを感じた子供たちは、「野菜の育て方のコツを聞く時には、『水やり』『肥料』『収穫』のことを聞きたいな」のように、学んだことを他の学習や生活に生かそうとしていくだろう。

3 単元構成の工夫

(1)【「魅力的な単元の目標」を子供たちと共有する場の設定】①

単元導入前の外国語活動の時間に、ALTからカナダの小学校の紹介を聞き、自分たちの学校との違いについて感想を交流する活動を設けることで、それぞれが感じたことを伝え合う面白さに気付けるようにし、他の国の小学校でも同じような活動をやってみたいという思いを高めておく。単元の導入で、活動の様子を記録した写真や動画を見せることで、その思いを想起させた後、日本の小学校との違いが顕著な国の紹介を三つ用意していることを伝えることで、自分が選んだ国の小学校の紹介を聞き、感想を伝え合う活動への意欲を高める。

(2)【「取り組む方法を選択して、自分で学びを進める時間」の設定】④

第二次に獲得した、「相手が何について話しているかに注意して聞く」「聞きたいこと（観点）を決めておく」という聞き方の工夫を用いて、日本の小学校との違いが顕著な三つの国から一つを選んで紹介を聞き、感想を伝え合う活動を設定する。紹介を聞く国を選べるようにするだけでなく、聞き取る観点の数を増やせたり、動画の再生速度を2種類から選べたり、聞き取った内容が友達とずれていた場合には、もう一度聞きに行けるようにしたりする。③時間目に、カンボジアの小学校の紹介を聞いて感想を伝え合う活動を設定することで、聞き方の工夫を使うと聞きたいことを落とさず聞けることを実感できるようにしておく。そうすることで、④時間目も前時と同様の流れで、自分に合った方法を選択しながら、学びを進めることができるようにする。

4 単元計画と働きかけ（本時 4/4）

次	学習の流れ	働きかけ
一	<p>① 学習の計画を立てよう</p> <p>外国語活動での経験を想起した後、「自分が選んだ国の小学校の紹介を聞いて、感想を伝え合おう」という単元のゴールを設定する。試しにイタリアの小学校の紹介を聞く活動を通して、聞き方についての問題意識をもち、単元のゴールを達成するために必要な学習について話し合いながら、学習計画を作成する。</p>	<p>【前と比べタイム】【生かそうマップ】②～④</p> <p>認知②時間目に、『新しく分かったこと・前よりもできるようになったこと』を振り返った後で、学んだことが生かせそうな場面を考える」という、今後の学習や生活に生かそうとする方法を明示的に指導する。</p>
二	<p>② 聞き方の工夫を見付けよう</p> <p>前時に聞いたイタリアの小学校の紹介の内容を確認することを通して、「相手が何について話しているかに注意して聞く」「聞きたいことを決めておく」という聞き方の工夫を見付ける。その後、本時学習した聞き方の工夫が生かせそうな場面について、他の国の小学校の紹介を聞くときや、野菜の育て方のコツを聞く時など、具体的な場面を出し合って全体で共有し、「生かそうマップ」としてまとめる。</p>	<p>想起③④時間目の振り返りでは、「今日の勉強を次に生かすために、どんなことを振り返ればよかったかな」と問うことで、「新しく分かったこと・前よりもできるようになったこと」を振り返り、本時の学びを生かせそうな場面を考えることを促す。</p>
三	<p>③ 見つけた聞き方の工夫を使ってみよう</p> <p>前時に見つけた聞き方の工夫を使って、カンボジアの小学校について、聞きたいことを落とさず聞き取る練習をする。その後、同じ観点を選んだ友達と話し合っ自分たちの学校との違いについて感想を伝え合う。</p>	<p>実感試しにイタリアの小学校の紹介を聞いているときの動画や、前時のワークシートを基に、「新しく分かったこと・前よりもできるようになったこと」を振り返らせることで、これまでの自分と比較しながら、本時の学びを正確に捉えやすくする。また、聞き方の工夫が生かせそうな場面をまとめた「生かそうマップ」を必要に応じて参考にすることで、生かせそうな場面を考えやすくする。その後、学んだことを今後の学習や生活に生かそうとしている姿を価値付ける。</p>
	<p>④ 自分が選んだ国の小学校の紹介を聞いて、感想を伝え合おう</p> <p>ブラジル・フランス・中国の三カ国から、最も自分が聞きたい国を選び、聞きたいことを落とさず聞き取る。その後、同じ国、同じ観点を選んだ友達と話し合っ自分たちの学校との違いについて感想を伝え合う。</p>	

5 本時の学習

目 標	聞きたいことを落とさずに自分が選んだ国の小学校の紹介を聞き、自分たちの学校との違いを捉えて感想をもつことができる。また、聞き方の工夫を他の学習や生活に生かそうとする。
--------	---

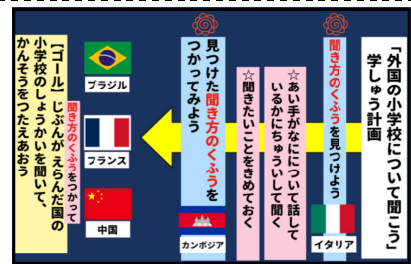
学習活動と働きかけ	主な子供の意識					
見 通 し	1 学習課題を確認する。	<p>前の時間は、聞き方の工夫を使って、カンボジアの小学校の紹介を聞いたよ。「休み時間」や「昼ご飯」のように、相手が今、何について話しているかに聞きたいことを決めておくことが大切だよ。注意して聞いたから、聞きたいことを落とさず聞くことができたよ。</p> <p>自分が選んだ国でも、聞き方の工夫が使えるよ。</p>				
	自分が選んだ国の小学校の紹介を聞いて、感想を伝え合おう					
行 動	2 自分が選んだ国の紹介を聞き、感想を伝え合う。 (1) 紹介を聞く (2) 聞き取った内容を確認し合う (3) 感想を伝え合う	ブラジルの「休み時間」を聞こう。	フランスの「持ち物」が知りたいな。	鉛筆ではなく、ボールペンを使うから、丁寧に文字を書くんだね。	ボールペンを使うから、丁寧に文字を書くんだね。	
	ブラジルの小学校は、ゆっくり休憩できる時間が1回しかない。授業が続いているので、教室移動が大変。	授業が続いているから、教室移動が大変なんだね。	フランスでは、鉛筆ではなくボールペンで文字を書く。簡単に消せないの、丁寧に文字を書いている。	ゆっくり休憩できる時間が1回しかない。授業が続いているので、教室移動が大変。	ボールペンが使えるなんて羨ましいな。ボールペンの方が格好いいから使ってみたいな。	簡単に消せないのは困るな。私はいつも使っている鉛筆の方が使いやすいと思うよ。
	休み時間は無いけど、12時半で帰れるから僕はブラジルの小学校の方がいいな。	休み時間が1日に1回だけだと、友達とあんまり遊べないから、私は少し嫌だな。	ボールペンが使えるなんて羨ましいな。ボールペンの方が格好いいから使ってみたいな。	簡単に消せないのは困るな。私はいつも使っている鉛筆の方が使いやすいと思うよ。	簡単に消せないのは困るな。私はいつも使っている鉛筆の方が使いやすいと思うよ。	
	みんなと遊べる時間が減るのは寂しいな。ブラジルの子供は寂しくないのかな。	確かに、「帰る時刻」は、12時半だったね。やっぱりブラジルの小学校もいいな。	なるほど。格好いいだけで使いにくかったら困るかもしれないな。鉛筆の方がいいかも。	確かにボールペンは格好いいよね。ボールペンが使えるようになる5年生が楽しみだ。	確かにボールペンは格好いいよね。ボールペンが使えるようになる5年生が楽しみだ。	
	聞きたいことを落とさず聞き取れたよ。					
	<p>「ゆっくり休憩できる時間は」の後に、大事なことを言っていたよ。「持ち物」とは言っていなかったけれど、「ボールペン」に注目したよ。</p> <p>聞きたいことに関係のある言葉に注意して聞くことが大切なんだね。</p>					
振 り 返 り	4 振り返りをする。 【前と比べタイム】 【生かそうマップ】	自分が選んだ国でも、聞きたいことを落とさず聞くことができたよ。	前は、聞きたいことを一つにしていたけれど、今日は二つも聞けたよ。	野菜の育て方のコツを聞く時は、「水やり」や「肥料」のことを聞くとよさそうだね。	勉強だけじゃなくて、普段の生活でも、聞き方の工夫が使えるところの方が前よりも増えたよ。使ってみたいな。	

評 価	聞きたいことを明確にした上で、関連する言葉を意識しながら自分が選んだ国の小学校の紹介を聞き、自分たちの学校と比べて感想をもっている。また、聞き方の工夫のよさを感じるとともに、それを生かそう場面を考えている。 【方法：発言、様相、記述】
--------	---

6 本時の詳細

～見通し～ **学習活動1**

「自分が選んだ国の小学校の紹介を聞いて、感想を伝え合おう」という単元のゴールを位置付けた学習計画を指しながら、「前の時間はどんな勉強をしたのかな」と問い、カンボジアの小学校について聞きたいことを落とさず聞けたことを確認する。その際、どんなことに気を付けながら聞いていたかを問うことで、「相手が何について話しているかに注意して聞く」「聞きたいこと（観点）を決めておく」という、これまでに見付けた聞き方の工夫も確認する。そして、「今日は何をするんだったかな」と問い、「自分が選んだ国の小学校の紹介を聞いて、感想を伝え合おう」という本時の学習課題を確認する。その際、本時でも聞き方の工夫を使おうとしている発言や、それに共感している子供を称賛し、これまでの学びを本時の学習に生かそうとしていることを価値付ける。



【学習計画】

～行動～ **学習活動2・3**

ブラジル・フランス・中国についての紹介をタブレット端末とヘッドホンで聞くことができるブースを複数設置しておく。

本時の行動場面では、まず、聞きたい国を確認した後、「持ち物」「始まる時刻・帰る時刻」「休み時間」「昼ご飯」の四つの観点から聞きたいものを選択（二つ以上でも可）させる。その後、①自分が選んだ国のブースに移動して紹介を聞く②同じ国、同じ観点を聞いた友達と、聞き取った内容を確認し合う③感想を伝え合う、という前時と同様の活動の流れを、手順表を示しながら全体で確認する。聞きたい国、聞き取る観点の種類と数、

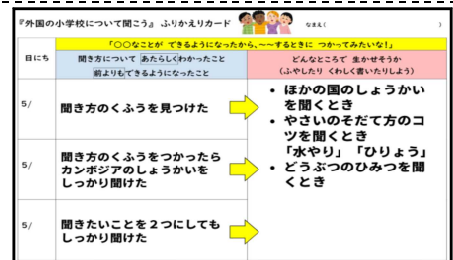


【ワークシート】

動画の再生速度（普通・ゆっくり）を選べるようにするとともに、聞き取った内容が友達とずれていた場合には、もう一度だけ聞きに行けるようにするなど、自分に合った方法を選択しながら学びを進められるようにする。ワークシートには、聞き取った内容を観点ごとに記録するほか、二つの表情の記号の内、自分の感想に近い方に丸を付け、必要に応じてその理由を記入できるようにする。教師は、動画再生の補助や、感想をもつことが苦手な子供に対して、「見つけた違いは、羨ましい・あんまりのどちらに近いかな」などの声掛けを行う。その後、全員で三つの国の紹介を聞き、自分が選んだ観点の話が始まったところで手を挙げさせ、その理由を問うことで、どんな言葉に注目したかを全体で共有し、聞きたいことに関係する言葉に注意して聞く大切さを再確認できるようにする。

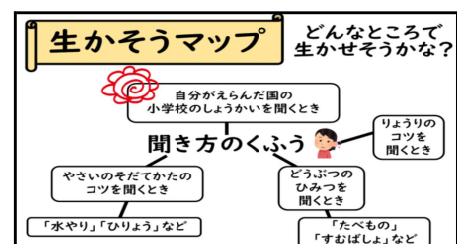
～振り返り～ **学習活動4**

「今日の勉強を次に生かすために、どんなことを振り返ればよかったかな」と問うことで、『新しく分かったこと・前よりもできるようになったこと』を振り返り、それが生かせそうな場面を考える」という方法を想起させ、振り返りを記述する時間を設ける。その際、試しにイタリアの紹介を聞いているときの動画や前時のワークシートを基にすることで、分かったことやできるようになったことを明確にし、本時の学びを正確に捉えやすくする【前と比べタイム】。また、補助黒板にある【生かそうマップ】を参考にする



【振り返りカード】

を参考にする。そして、「例えば、野菜の育て方のコツを聞く時だと、どんなことを聞けばよいかな」と問うことで、聞き方の工夫をどのように使うかについて、より具体的に考えられるようにする。その後、本時の学びを今後の学習や生活に生かそうとしている姿や、それに共感している姿を称賛し、価値付ける。



【生かそうマップ】